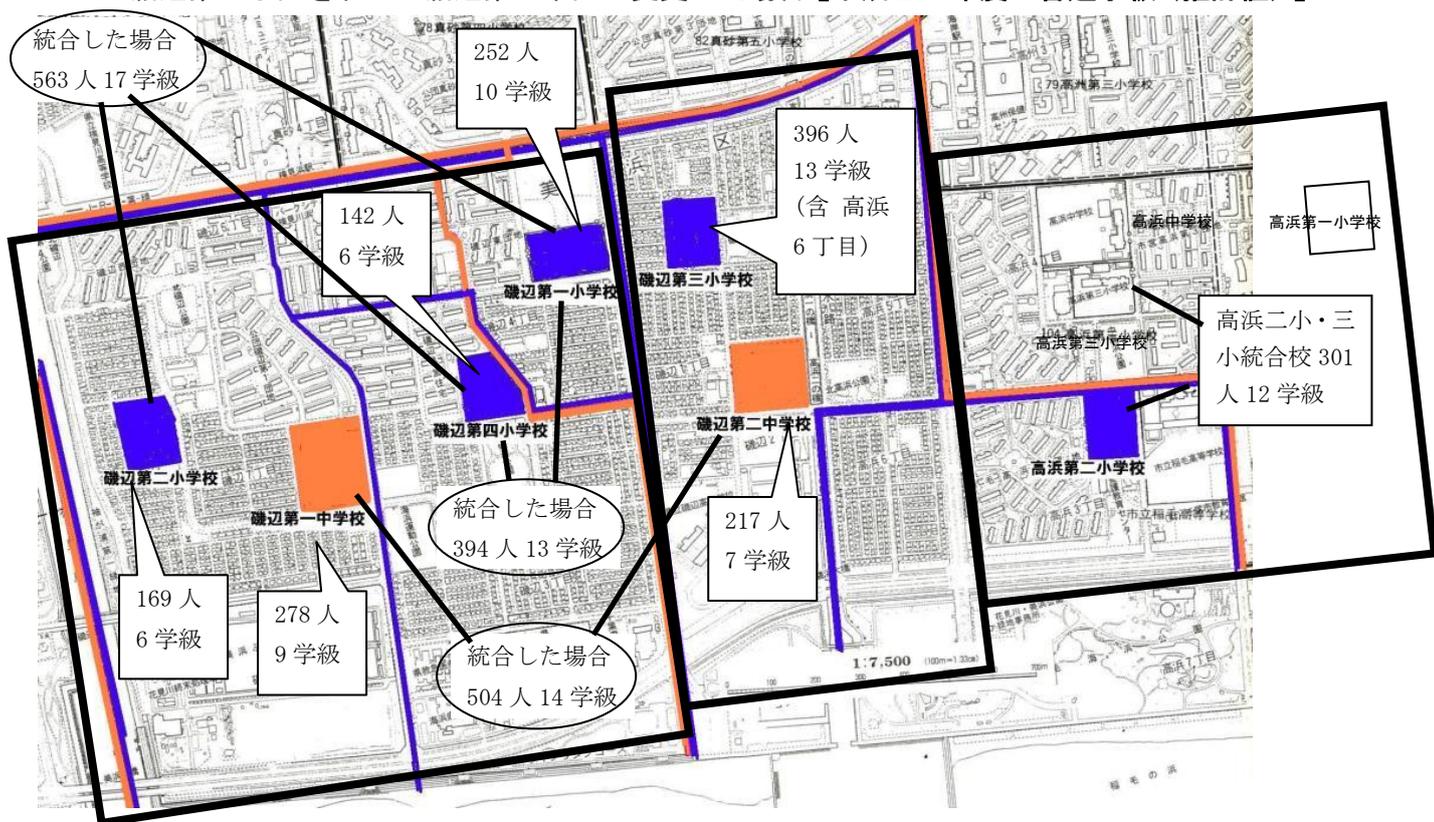


1 学区図

磯辺第一小区をすべて磯辺第一中区に変更した場合【平成28年度の普通学級（推計値）】



※平成24年度に高浜第二小と高浜第三小が統合することに伴い、
 ①高浜3丁目が高浜中学校区とする。（ただし、高浜3丁目の生徒は、磯辺第二中への通学も希望により認められる。）
 ②高浜6丁目が磯辺三小区となる。

2 小学校の統合シミュレーション

(1) 磯辺一小・二小・四小の統合

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
磯辺一小と磯辺二小と磯辺四小	児童数	1年	94	107	96	95	65
		2年	106	94	107	96	95
		3年	118	106	94	107	96
		4年	109	118	106	94	107
		5年	119	109	118	106	94
		6年	129	119	109	118	106
		計	675	653	630	616	563
学級数	1年	3	3	3	3	2	
	2年	3	3	3	3	3	
	3年	3	3	3	3	3	
	4年	3	3	3	3	3	
	5年	3	3	3	3	3	
	6年	4	3	3	3	3	
	計	19	18	18	18	17	

(2) 磯辺一小・四小の統合

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
磯辺一小と磯辺四小	児童数	1年	67	71	69	59	47
		2年	81	67	71	69	59
		3年	89	81	67	71	69
		4年	76	89	81	67	71
		5年	101	76	89	81	67
		6年	92	101	76	89	81
		計	506	485	453	436	394
学級数	1年	2	2	2	2	2	
	2年	3	2	2	2	2	
	3年	3	3	2	2	2	
	4年	2	3	3	2	2	
	5年	3	2	3	3	2	
	6年	3	3	2	3	3	
	計	16	15	14	14	13	

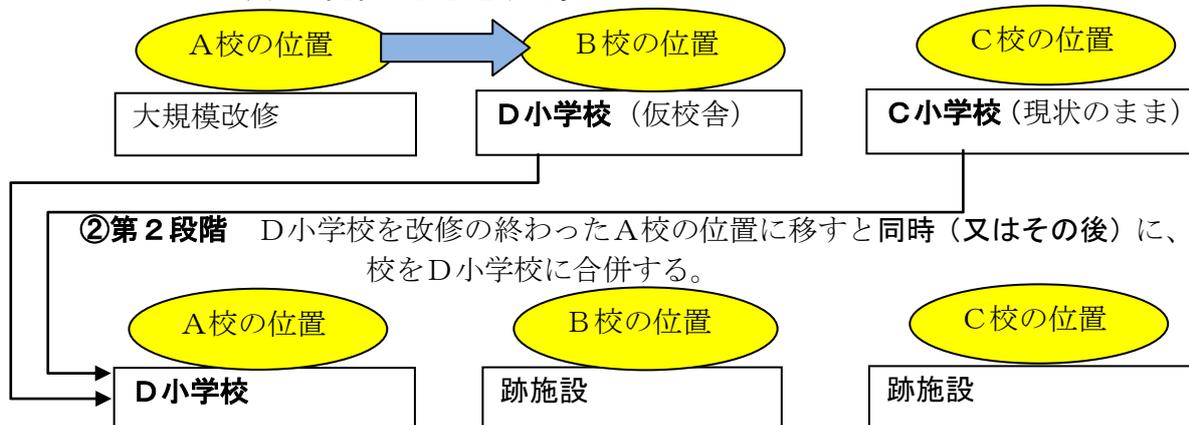
※学級数の欄 現行の制度により、教員加配のある学年。

3 3校統合の進め方について

※仮に統合により新設されるD小学校の統合場所をA校の位置、仮校舎をB校の位置とする。

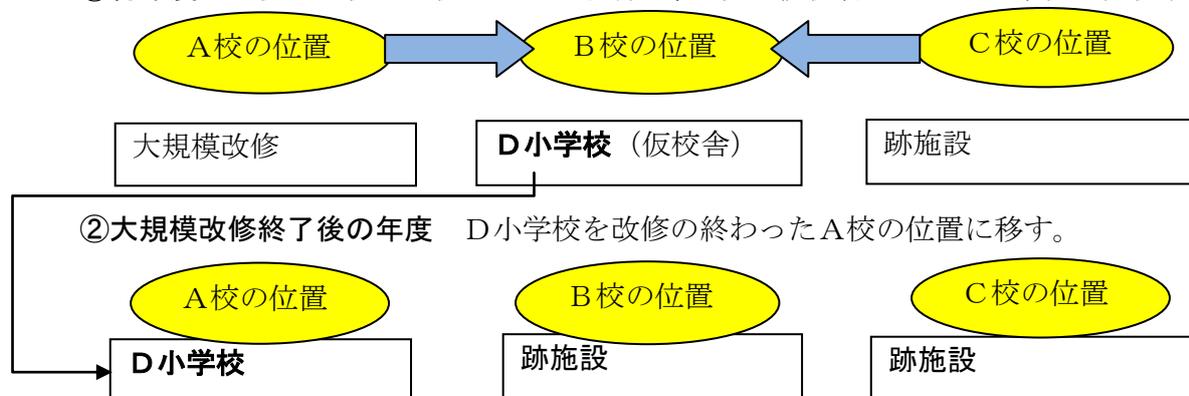
パターン1（2段階統合方式）

①第1段階 A校とB校を統合し、B校を仮校舎としてD小学校を開校する。その際、C小学校は現状のままとする。



パターン2（3校同時統合方式）

①初年度 A校とB校とC校を一気に統合し、B校を仮校舎としてD小学校を開校する。



4 統合時期の考え方について

統合準備に際して、**子どもたちの交流期間を十分に取り余裕を持って進めるためには、1年半～2年の期間をとることが望ましい。**

これまでの事例

(1) 花島小学校（準備期間約10か月）

平成17年5月「統合の要望書提出」

7月「統合準備会設置」

平成18年4月「花島小学校開校」

※現場教職員や保護者から統合準備があわただしかったとの意見があった。

(2) 真砂地区及び高洲地域の統合準備（準備期間約1年半）

平成21年9月「統合の要望書提出」

10月「統合準備会設置」

平成23年4月「真砂中学校・真砂東小学校・真砂西小学校・高洲小学校開校予定」

※統合準備は順調に進んでいる。

(3) 高浜地域の統合準備（準備期間約2年）

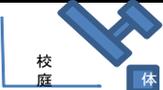
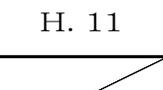
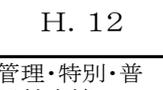
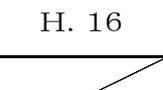
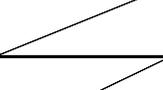
平成22年3月「統合の要望書提出」

9月「統合準備会設置」

平成24年4月「高浜二小・三小統合校開校予定」

※統合準備会設置前から、保護者・学校レベルで交流活動開始

5 統合場所選定の考え方（これまでの例）

統合新設校		真砂中学校 (真砂一中・二 中統合校)	真砂東小学校 (真砂一小・四 小統合校)	真砂西小学校 (真砂二小・三 小統合校)	高洲小学校 (高洲一小・二 小統合校)	高浜二小・ 三小 統合新設校		
統合新設校設置場所		真砂第一中学校	真砂第二中学校	真砂第三小学校	高洲第一小学校	高浜第三小学校		
開校年度		S. 48	S. 49	S. 49	S. 47	S. 57		
教育環境	校地	校地面積(m ²)	23,128m ²	23,093m ²	16,596m ²	16,600m ²	18,077m ²	
		校地の形状						
	校舎	校舎の形状						
		外部改修 施工年度	H. 11	H. 12	H. 18	H. 16		
		耐震補強	補強済み		管理・特別・普通教室棟 ※H. 12に施工	特別・普通教室棟 ※H. 18に施工		
			補強必要	管理・特別・普通教室棟(0.42)	特別・普通教室棟(0.43)		特別教室棟、管理・普通教室棟(0.41,0.48)	
		補強不要	普通教室棟(新基準) 特別教室棟(2.35)	普通教室棟(0.81) 特別教室棟(1.93)	普通教室棟(新基準) 管理室棟(0.62)		管理・普通教室棟(新基準)、 特別教室棟(新基準)	
		内部改修 施工年度		H. 12	H. 18 ※特別・普通教室棟	H. 7		
	保有教室数 ()内は、 現在普通教室として使用 できる教室数		21(19)	24(16)	27(19)	22(19)	28(25)	
	体育館面積	874m ²	1,317m ²	789m ²	781m ²	786m ²		
	校庭	面積	13,899m ²	9,483m ²	6,628m ²	8,293m ²	8,749m ²	
		整備年度	H. 10	S. 60	H. 20	H. 4	H. 13	
通学距離等		一番遠くなると 思われる所から 約1.8km	真砂一小・四小 の間にある	一番遠くなると 思われる所から 約0.7km	一番遠くなると 思われる所から 約0.9km	一番遠くなると 思われる所から 約0.8km		
特別支援学級等			3学級設置(知的2、情緒1)	1学級設置(知的1) ライトポート美浜を 設置		平成22年度に 特別支援学級(知的)を 設置		
地域の施設 機能と	育児 子どもルーム			学校敷地内に 設置	学校外に設置	学校外に設置		
	防災 避難所 施設等の設置	指定あり 地震計	指定あり	指定あり	指定あり	指定あり		
選定の考え方		隣接する現真砂第二小学校を活用できる。校庭が整備され水はけがよい。	真砂一小と四小の中間にあり、どちらからも通学に簡便。体育館が広く地域活動にも至便。	すでに改修済の箇所が多くきれいだ。	高洲地域の学校配置のバランスを重視(高洲一小と高洲二小はまったく同じ校舎の形状と校庭の状況である。)	校舎の見通しがよく、職員室・校長室から校庭を見渡すことができ、子どもたちの把握に至便。廊下が広く、明るい。新基準で建てられており、耐震性が高い。校庭が整備され水はけがよい。		